

Capo. 2 オープンD  
Capo. 4 1-2-3-4

### 春の風に吹かれて

C Dm Em Dm  
0 5 F#m 5

C An 5 Dm 7 G  
0 Bm 5

これまで胸の奥で 積もっていた影

C An F G C  
0 Bm 5 7 0

春の風に吹かれて ぽかぽか

C An F G  
0 Bm 5 7

光が差し込んできて 閉じていた窓

C An Dm G C  
0 Bm 5 7 0

重たかった いくつかの想い 連れ去って

C G Am Dm F G Em  
0 7 Bm 5 5 7 F#m

長い夜を超えた後に

C Em F G  
0 F#m 5 7

心の奥に残っていた 僅かな痛みも

Dm G F G  
5 7 5 7

そと風に触れた今 やさしく

C Em Dm G  
0 F#m 5 7

少し少し冷たく感じる 空気の中

Dm G An G  
5 7 Bm 7

季節 追い越す心

0 5 F#m 5

C An 5 Dm 7 G  
0 Bm 5

この冬動けなかった 足も今は

C An 5 G C  
0 Bm 5 7 0

そのおもりも なく ゆっくりと 進める

C An F G  
0 Bm 5 7

道端の花 そっと色を取り戻し

C An Dm 5 G C  
0 Bm 5 7 0

遠くの雲 柔かく その形 変える

C G Am Dm F G Em  
0 7 Bm 5 5 7 F#m

悩みの 向こう側に

C Em Dm G  
0 F#m 5 7

景色は 思っていた よりも ずっと 広く

Dm G F G  
5 7 5 7

静かに 輝いていた 大きく

C Em 5 Dm 7 G  
0 F#m 5 7

あの日 言えなかった 言葉が 風に 乗り

5 Dm 7 G An 7 G  
5 7 5 7

少し 軽くなる 気がした

Bm An 5 F Dm 5 F G F Em G  
5 7 5 7 5 7 5 7

ただ 進めるといふ この 事実が 心の中に 嬉しい ことと 思えた

### 春の風に吹かれて

この風が それとなく 教えてくれた

ようやく 取り戻す 無くして たも

また 見ぬ 明日へ 揺れながら 迷いながら

それで 前へ

やわらかい土のあるところ

G D Em C G D Em C

G Bm Em G  
幼い頃つけた足跡

Am Am C D  
まだどこかに残ってる気がした

G Em Am D  
そっちは過ぎていった日々が

Am Am C D D  
静かに息を吐いていた

Em D Bm Em  
乾いた道を照らすやわらかな陽光

Em D Bm Em  
君のあの目と同じように差し込んで

D G  
あの頃の笑い声

Am C D  
聞こえてくるような気がした

G Am D  
やわらかい土のあるところ

G  
風の音か

G Am  
忘れたいものを

D G  
そっと呼び起こす

G D Em C G D Em C

G Bm Em G Am Am C D  
足音が深く沈んで 重たかったこの気持ち

G Em Am D  
そっと地面に吸い込まれてゆく

Am Am C D D  
まだ幼く感じる風の中で

Em D Bm Em  
ひらひらと笑う草に小さな影たちが

Em D Bm Em  
ぬくもり探しながら寄り添っている

D G Am C D  
ここではゆっくりと言葉探すことはいらない

G Am D G  
やわらかい土のあるところ そっで見つけた

G Am D G  
心の奥の固いものを そっとほぐせる

G D Em C G D Em C

D G Am C D  
あの頃の笑い声 聞こえてくるような気がした

G Am D G  
やわらかい土のあるところ 風の音か

G Am D G  
忘れたいものを そっと呼び起こす

G Am D G  
やわらかい土のあるところ そっちは

G Am D G  
ふと見つける自分だけの静かな場所

# 消えない.. 幻

Em D C B7 Em D C B7  
Am G F E7 Am G F E7  
Em Am G Em G

ふと途切れた眠りの中

暗闇から見える巨球

ふと夜の底でまた震える

あの温もりもうどこにもなくて

ただ指先に冷たい空気  
呼びかけることもできな.. まさに

★  
G C D Em G  
C F Am D G G7

ゆっくり締め付ける

もう戻らない.. 最後の灯火に \*\*

ふと現れた 記憶の中

忘れていた フリをしていた

手を伸ばせば届くはずだと思っていた

あの温もりもう どこにもなくて

まだ帰り道を探している

もう戻れないとわかっていったのに

この心はまだ

失ったものを求めて

影の輪郭探し続けている

(★~★★ (リカレシ))

## 灯台の光の海

C G Am F C G Am F

<sup>C</sup>  
 君がいた頃には一人訪れていた

<sup>C</sup> <sup>Dm</sup> <sup>F</sup> <sup>G</sup>  
 この灯台の光の海に

<sup>C</sup> <sup>Dm</sup> <sup>F</sup> <sup>G</sup>  
 久しぶりにフェリーに乗って

<sup>Am</sup> <sup>Dm</sup> <sup>F</sup> <sup>G</sup>  
 閉じ込めてた自分を見つける

<sup>C</sup> <sup>Dm</sup>  
 \* 波の呼吸 音から変わらなくて

<sup>F</sup> <sup>G</sup>  
 その時の悩みや迷いも映す

<sup>Am</sup> <sup>Dm</sup>  
 ここに来ればいつしか無くしたものの

<sup>F</sup> <sup>G</sup> <sup>C</sup>  
 まだどこかで生きている気がする \*\*

白い灯台が 強.. 風の中

おすかに揺れていた 少しこぼして

あの頃 思えば 免許もなく

ギター抱えて 一人バスに乗って

誰もいない 海がけが歌った

大きな声も出せない 日々の生活

夜つ声は波の音に消されて

胸の奥少しあつくなった

( \* ~ \*\* <リカ2> )

Capa <  
Capo. 1

(G#m)

簡素に颯爽と優美にイキイキと

Em C D Em C D

Em Bm C Bm  
水に生きるものたちも 傍目だけでわからない

C Em D D2  
仲間たちとのやりとりがあるにちがいないはずだ

Em Bm C Bm  
人の社会もこの頃は たとえ孤独な生業も

C Em D Em  
繋がり合うのが大事と 見直されているワークスタイル

Em C D Bm  
群れることよりも 誰はけめることなく

Em C D Em  
付き合いをなくして 気楽になろうとしても

Em C D Bm  
一人だけでできることに 限界感じて

Em C D Em  
悔やんでしまっても 後戻りできない

G Am D Em  
こういうのが... 不満なことに

G Am D Em  
合わせるだけでなく 問い続けてゆきたら

僕はこれからも けして媚びない

良いと思うものだけ 追いかけてゆきたい

1-マール+オーピング

水に生きるものたちも 傍目だけでわからない

異性とのつながりがあるにちがいないはずだ

人の社会もこの頃は 女だとか男だとか

問わないことが大事と 見直されているライフスタイル

気遣うことより お互いの言い分を

差別ないところで 同じように振る舞う

底力とすることによって 反感さえ持たれて

後退りしても なおさら気まじくなる

こういうのが好き 性別はどうあれ

支える人と支えられる人

支える人は簡素に颯爽と

支えられる人は 優美にイキイキと

こういうのが... 妥協したりでなく

ときには向き合... 確かめてゆきたら

僕はこれからも けして媚びない

水に生きるものたちと同じように

# 北風と太陽

Em D D7 G Bm

Em D Em  
通りの角 回ってくる北風

Em A D G  
今夜こそ自分の強さ 見せる

Am G D G A G  
「どうしてみんなが言うことを聞いて  
くれないんだらう」と呟く

Em D Em  
ほっぺ ふくらませながら 思い切り  
Em A D G  
新しい上がる 落ち葉に 泣く看板

Am G D G A G  
通りすがりの人の心まで  
A G Bm Em  
縮めてしまっ そうになつていく

G Am G  
「人の心は力だれでも動かない...」  
Am D G  
と胸をこぼす声で

G Am G  
見下ろす 屋根の上 見かねた 太陽

Am D G  
小さな光の粒 そっと 落とす

Em D Em Em D Em  
こればかりは自分で やりしめるみごと

Em D D7 G Bm

Em D Em  
自分ほど強いのかな...と北風

Em A D G  
だれに 見せるものでなかった

Am G D G A G  
自分の思い 伝えるためには  
A G Bm Em  
誰か本気でいってほしい

Em D Em  
押し付けることに 疲れたとき  
Em A D G  
黙った その瞬間に 見たもの

Am G D G A G  
そっと触れた 暖かの中  
A G Bm Em  
思いのまに 動く人たち

G Am G  
「ほらどらんよ力をつけて  
G Am D G  
自分たちで動くの待たれて...」

G Am G  
たまたま照らす 太陽 変わることを

G Am D G  
かまこともなく 見守りながら

Em D Em Em D Em  
ひとすじの光 そっと 落とすだけ

Capo. X / 2nd G  
C900. 2nd D

### 春の散歩道

7 2 F#m 0 Bm 2 7 2  
G D Em C Am D G 0

7 2 7 F#m Bm 0 2  
G D G Em Am C D D7

7 2 F#m 2 0 2 7  
G D Em D C D G

その扉の向こうの見知らぬ場所へ

7 2 7 F#m  
G D G Em

Bm 0 2  
Am C D D7

Bm 2 F#m 2  
Am D Em D

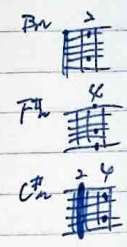
0 2 7 2  
C D G D

照らすれてほろろしい

7 2 C#m F#m Bm 2 7 2  
G D Bm Bm Em Am D G D7

7 2  
G D7

C#m F#m Bm 2 7  
Bm Em Am D G



7 2 F#m 0 Bm 2 7 2  
G D Em C Am D G D

7 2 7 F#m Bm 0 2  
G D 2 G Em Am C D D7

7 2 F#m 2 0 2 7  
G D Em D C D G

7 2 7 F#m  
G D G Em

Bm 0 2  
Am C D D7

Bm 2 F#m 2 0 2 7 2  
Am D Em D C D G D

(★ ~ ☆★くりかえし)

7 2 C#m F#m Bm 2 7 2  
G D Bm Em Am D G D7

7 2  
G D7

C#m F#m Bm 2 7  
Bm Em Am D G